

アカバナ科 ミスタマソウ属

# ミスタマソウ (水玉草)

*Circaea mollis* Siebold et Zucc.

## 自生環境

林縁、湿地 など

## 原産地

日本在来

## 生育を脅かす要因



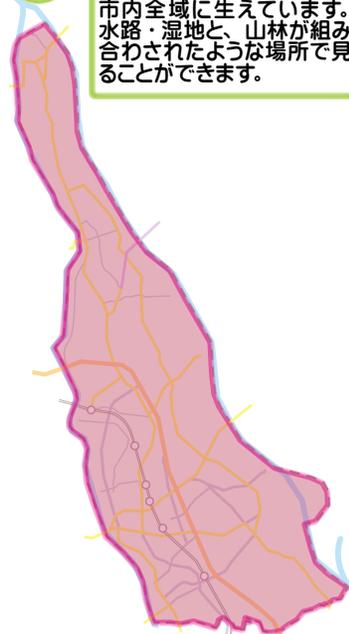
ミスタマソウの自生環境は、伐採や埋め立て、不法投棄などの影響を受けやすく、良好とは言い難いのが実情です。また、外来種やササ類がはびこって荒廃が進んでいます。

## 特徴

- ☆ 湿り気が多く、日当たりの悪いところに生える多年草です。林の縁が湿地や水路と隣接しているような場所によく見られます。草丈は 50cm ほどで、茎の節々が赤く色づく傾向があります。
- ☆ 夏から秋にかけて、花や果実の穂が出ます。花は白色で直径 3mm ほど。花びらは 2 枚で、真ん中が深く切れ込んでハート形になっています。果実は直径 3mm ほどで丸っこいかたちをしています。表面には先がぐるんと巻いたかき爪状の刺がびっしりと生えます。このかき爪で洋服や動物の体に引っかかり、あちこちにタネを運んでもらおうという作戦です。
- ☆ 葉は先が長くとがり、根元はくさび形（徐々に細くなる）です。この中間は似たような種類がいくつかありますが、葉のかたちは重要な識別ポイントのひとつとなります。

## 市内の分布状況

市内全域に生えています。水路・湿地と、山林が組み合わされたような場所で見ることができます。



## 水玉みたいな果実

朝、気温が下がると、空気中の水蒸気が水滴となってあちこちにつく「露」という現象が起こります。そして植物の毛の部分は、露がつきやすい傾向があります。ミスタマソウの果実は丸っこい形で、表面にかき爪状の毛がびっしりと生えています。そのため朝は露がついて、より際立って見えます。ミスタマソウの名前は、この様子を水玉に見立てたことが由来とされています。



果実には、かき爪状の毛がびっしり

春の芽吹き。葉は赤みがかった色



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

